

八王子東高校の先生方へ

中央大学文学部人文社会学科社会学専攻 4年

竹村 夏実



先生方、お元気ですか。私は今春に大学を卒業し、4月から社会人生活をスタートさせます。

八王子東高校で過ごした3年間は、とても濃密な時間でした。街で茶色い制服を見かけるたびに、吹奏楽部で仲間と意見をぶつけ合ったことや、合唱祭で金賞を取った時の喜び、受験勉強に励んだ日々などを思い出し、少し羨ましいような、懐かしい気持ちになります。高校時代の沢山の思い出は、今の私の糧になっています。

大学では社会学を専攻し、政治や家族、ソーシャルメディアなど、人が交わる場面で起きる現象や問題、その調査の仕方について学びました。様々な分野の講義を受ける中で、私は特に教育分野に関心があることに気づきました。中央大学では、文学部内の他の専攻や他学部の講義を履修できるので、教育学専攻の講義を履修し、日本の学校教育の変遷や教育現場で起きている問題について理解を深めました。

中央大学は、関心のある学問を深められるだけでなく、意欲的に行動しようとする学生にとって、多くの学びの機会があり、とても良い環境が用意されています。

2年生の終わりに、働くことについて知りたいという思いから、大学のキャリアセンターを通してインターンシップに応募し、ある民間企業の2週間の職業体験プログラムに参加しました。社員の方々と同じ時刻に出勤し、新規開拓のためのテレフォンアポイントを取ったり、お客様を訪問したりといった、かなり本格的な内容で、これまでに経験したことのない、とても刺激的な日々を過ごせました。

その後の就職活動では、OB・OG訪問や企業説明会などで中央大学出身の先輩に数多く出会い、大変お世話になりました。その中で、先輩方の母校に対する想いの強さや、大学の歴史の重みを実感



しました。母校を愛し、後輩への思いやりに溢れた先輩が多い校風は、八王子東高校と通ずるものがあるように思います。八王子東高校出身の方に出会うこともあり、その時は共通の先生の話で盛り上がり、とても嬉しかったです。

私は、教育への関心や、インターンシップの経験などから、社会に最も近い教育機関である大学で、将来を描くためのより多くの機会を学生に与えたいと考え、大学職員になることを志望しました。多くの選考を受ける中、ご縁があり、母校である中央大学に入職することになりました。

4年間の大学生活を意欲的に行動することができたのは、八王子東高校で、部活動などを生徒主体で進める中で培った「自分で考えて行動する力」があったからだと思います。それに加え、部活動、学業、行事全てに全力で取り組んだ経験があったからこそ、大学でも自らの目標に向かって、努力し続けることができました。どちらも、八王子東高校の先生方がそうした環境を整え、私たちに真剣に向き合い、指導してくださったおかげです。本当にありがとうございました。

4月からは中央大学の職員として、大学に関わるあらゆる方々と連携をしながら、学生がより充実した時間を過ごすことができるよう、精一杯勤めていきたいと思っています。職員として、母校に伺える日を楽しみにしています。その際は、何卒よろしく申し上げます。